

千葉市動物公園のチーターが6頭の子どもを出産しました ～飼育開始から初めて繁殖に成功！～

千葉市動物公園では、昨年7月にオープンしたチーター展示場の整備にあたり、海外動物園から寄贈を受けたチーターのメス1頭が、6頭の子どもを出産しましたので、お知らせします。

本園においては、チーターの飼育開始から初めて繁殖に成功しましたので、併せてお知らせします。

1 出産日時

令和3年6月8日（火）午後9時00分頃 第1仔の出産を確認

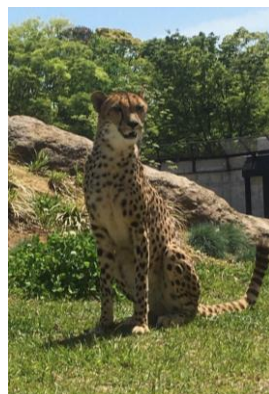
2 子どもの頭数

6頭（性別不明）

※母子ともに健康



母子の様子



ズラヤ（メス5歳）

3 親個体

母親：ズラヤ

生年月日 2016年5月27生まれ（満5歳）

導入先 ノルウェー王国 クリスチャンサン動物園

来園日 2020年6月9日来園

父親：未特定

※発情期のペアリング時に複数頭のオスと同居していたことから、後日DNA判定を実施予定

【DNA判定の対象（3頭は同時に生まれた兄弟）】

生年月日 2018年5月14生まれ（満3歳）

導入先 チェコ共和国 プラハ動物園

来園日 2020年6月15日来園

4 チーター繁殖の意義について

(公社)日本本動物園水族館協会(JAZA)では、全国の動物園の参画により希少野生動物の飼育下繁殖に取り組んでおり、チーターは繁殖プログラムにより計画的な繁殖管理を行う対象として、全国で14園(千葉市含む)の動物園がプログラムに参加しています。

今回、千葉市においては昨年の導入時にヨーロッパ動物園水族館協会(EAZA)の調整により、日本の繁殖プログラムへの活用としてノルウェー、チェコ、フランスの各動物園から千葉市が代表してご寄贈を受けた経緯があります。

今回の繁殖は遺伝的多様性の維持を必要とする繁殖プログラムにおいて、日本における新たな遺伝子資源同士の繁殖として大変有意義な繁殖となります。

5 公開について

9月上旬頃に公開を予定

《参考》

チーターについて

(1) 保護状況

レッドリスト VU(絶滅危惧Ⅱ類:絶滅の危険が増大している)

ワシントン条約付属書 I

※北西アフリカチーター・イランチーター CR (絶滅危惧ⅠA類)

(2) 特徴

体長 105~152cm、尾長 51~87cm、体重 35~65kg

体表は黄褐色で腹部は白く、体全体に黒い小斑がある。

地上最速の動物で、ほんの数秒で時速110km以上に達する。

(3) 生態

草地、サバンナ、山地など様々な土地で見られる。メスは保育期以外単独で生活し、子ども単独で育てる。オスは単独、または他のオスと一緒に生活する。昼行性で狩りは視覚に頼っている。天敵はブチハイエナ、ライオン、ヒョウなど。

(4) 分布

サハラ砂漠以南と北西部、東部の一部およびイラン

(5) 飼育頭数

ア 千葉市動物公園 雄3頭、雌4頭、性別不明6頭 計13頭

イ 国内飼育頭数(14施設) 雄51頭、雌40頭 計91頭

※日本動物園水族館協会資料(令和2年10月末日現在)